平成28年度 北見北斗 学校評価 (学校関係者評価票) (全日制)

① 評価点数 A: 十分である 4点 B: 概ね十分である 3点 C: 不十分である 2点 D: 改善を要する 2点

② 自己評価の適切さ・改善に向けた取組の適切さにおける評価方法 学校評議員評価の平均から、3.5以上: A 2.6以上: B 2.5以下C とする。

領域	重点事項	質問番号	評価の観点	自己評価 平均値	自己評価 の適切さ	改善に向 けた取組 の適切さ	学校関係者の意見等	
教育活動	確かな学力の育成	1	知識・技能などの基礎学力習得に加え、思考力・判断力・表現力等などの活用学力育成をねらいとした学習内容の工夫・改善が行われている。	3.17	A	A	・SSH採択時の具体的な進め方が教員の過度の負担にならないよう配慮願います。	
		2	3年間シラバス作成のための検討・協議が各教科でなされている。	2.67	B	B		
		3	主体的・対話的で深い学びの視点から、質の高い理解を図るための教育課程の工夫・改善が行われている。	2.93	A	A		
		4	ルーブリックや評価規準・段階の活用など、学習評価の充実を図った年間シラバスの検討・協議が各教科でなされている。	2.43	B	B		
	豊かな心能力の育成	5	授業・特別活動等の目的に、協働する力、やり抜く力、チャレンジする力などの育成を位置付けて、非認知能力の育成の充実を図っている。	2.89	B	B	・保護者のアンケートで「わからない・未記入」が20%あり、家庭の事情もあると思うが、学校からのアプローチが必要では。 ・校内で挨拶がとても良いと思います。	
		6	生徒理解に基づいて、生徒の悩み(いじめ等も含む)に正対した教育相談に取り組むとともに、様々な面でカウンセリング的関わりを行っている。	2.96	B	B		
		7	家庭や関係機関との連携や協力を図り、特別支援を必要とする生徒や不登校傾向のある生徒に対して適切な支援を行っている。	3.00	B	B		
	キャリア教育の充実	8	今年度の目標①「授業と講習・模試を連動させた組織的・系統的な学習・進路指導」の視点を持って、進路シラバスの改善を図っている。	3.02	B	A	・医進類型の設置や、職業ガイダンス文集の発行など、将来の職業選択に向けた取組は十分だと思います。	
		9	医進類型生徒への指導を組織的・戦略的に実施し、充実を図っている。	3.00	A	A		
		10	保護者の理解や関係機関との連携体制をもとに、ガイダンス機能の充実が図られている。	3.20	A	A		
		11	生徒のキャリア形成の観点から、授業や特別活動、総合的な学習の時間を通して、生き方、働き方を考えさせる取組の充実や、能力の伸長が図られている。	2.83	B	B		
学校運営	保護者・発信・地域	12	アクセスのしやすさや更新頻度を高めるなど、ホームページの充実を図っている。	3.24	A	A	・保護者のアンケートで「わからない・未記入」が20%あり、家庭の事情もあると思うが、学校からのアプローチが必要では。 ・ホームページを利用した対外への情報発信力が大幅に向上したと思います。 ・HPやマスコミを通じ、積極的に発信していると感じています。 ・HPの改修など、学校側の意欲が感じられます。 ・強行遠征の父母手伝いなど、連携がとれていると思いま	
		13	報道メディアを活かし、生徒の活動に関する情報発信の充実を図っている。	2.87	A	A		
		14	懇談会及び各種通信等の充実により家庭との連携や協力が図られている。	3.20	B	B		
		15	大学、地域との連携・協働を基にした教育活動の充実が図られている。	2.98	B	B		
	組織運営	16	学校評価と分掌・学年の目標の整合性に努めている。	2.74	A	A		
		17	身に付けさせたいコンピテンシーに基づき、分掌・学年で明確な目標を示し、その達成に向けて分掌・学年で合意形成が図られている。	2.63	B	B		
		18	前年度の学校評価を分掌、学年で検証するとともに、次年度の教育計画において改善内容が反映されている。	2.65	A	B		
	教職員の資	規律	19	主体的に校外研修に参加するなど、絶えず研究と修養に努め、研修成果の共有・還元を図っている。	3.09	A	A	・地元の進学校として、親の期待に十分応えていると思います。
			20	交通法規等の法令を遵守するとともに、体罰防止等の服務規律の保持にお互い気をつけている。	3.63	B	A	
21			長時間勤務の連続とならないよう、効率的な業務の遂行に努めている。	2.30	B	B		